

三者協働でこれからの授業を
設計してみよう

～コロナ禍での経験を踏まえて～

C班	氏名	赤阪 元崇
		木下 萌加
		栗栖 昇己
		森岡 友紀
		矢田 尚也



関西大学の未来に 繋がるSDGs



(1) 授業種別	演習
(2) 授業概要	<p>テーマ：関西大学の未来に繋がるSDGs</p> <p>内容：SDGs（sustainable development goals）という、2015年9月25日、第70回国連総会において採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」の基礎を学習し、関西大学のSDGsの取り組み（事例）を理解する。その上で、「関西大学の未来に繋がるSDGs」を探求する。</p> <p>個人学習、グループワーク、フィールドワークを通じて、上記のテーマについて理解と実践力を深めていく。最終発表では、各グループの興味・関心に従って特定のテーマを定め、プレゼンテーションを行う。</p>



<p>(3) 学位授与方針との関係 (プログラムポリシー)</p>	<p>① (知識・技能) 学士課程教育の基盤となる幅広い学問的および社会的知識と技能を身に付けることができる。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力等の能力) 学部横断型教育プログラムの特徴を活かし、違う視点を持った学生同士が協働的に学ぶことで、「考動力（自律力、人間力、社会力、国際力、革新力）」を身に付けることができる。</p> <p>③ (主体的な態度) 自らの学びに責任を持ち、直面する課題に主体的に取り組むことができる。</p>
<p>(4) 到達目標</p>	<p>① (知識・技能) SDGsの背景にある理念を理解し、その知識を実践に役立てることができる。</p> <p>② (思考力・判断力・表現力の能力) SDGsについて、他者の意見を尊重し、自分の考えを発信して、新たな価値を創出する。</p> <p>③ (主体的な態度) 自ら諸問題を発見し、主体的かつ柔軟に取り組むことができる。</p>
<p>(5) 授業手法</p>	<p>① 教員による資料等を用いた説明や課題等へのフィードバック</p> <p>② 学生同士の意見交換 (グループ・ディスカッション)</p> <p>③ プレゼンテーション</p> <p>④ 課題探究 (プロジェクト学習、課題解決型学習、ケーススタディ等含む)</p> <p>⑤ フィールドワーク</p>

<p>(6) 授業計画</p>	<p>第1回 オリエンテーション 第2回 SDGsについて (1) (17の国際目標について) 第3回 SDGsについて (2) (日本のSDGs の取り組みについて) 第4回 SDGsについて (3) (関西大学のSDGs の取り組みについて) 第5回 個人発表 (課題発表) 第6回 個人発表 (課題発表) 第7回 フィードバック・グループ分け・グループワーク 第8回 グループワーク 第9回 フィールドワーク (SDGs実施の企業訪問) 第10回 グループワーク 第11回 中間発表 第12回 グループワーク 第13回 グループワーク 第14～15回 最終発表</p>
<p>(7) 授業時間外学習</p>	<p>第5・6回の個人発表及び第14・15回の最終発表に向けて、講義で配布するレジюмеや資料を読み返し、紹介した参考文献に目を通すなど、日ごろから復習に心がけること。</p>



<p>(8) 方法</p>	<p>⑦定期試験を行わず、平常試験（小テスト・レポート等）で総合評価する。</p> <ul style="list-style-type: none">・授業参加度(20%)・個人発表(30%)・最終発表(50%)
<p>(9) 基準・評価</p>	<p>①（知識・技能）</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsについて、深く理解できているかを評価する。・授業時に紹介する視点・知識等を役立てているか評価する。（20%） <p>②（思考力・判断力・表現力の能力）</p> <ul style="list-style-type: none">・SDGsについて、自分ができることを考え、実行する力を身につけられているかを評価する。・グループワークでの協調性、論理性、表現力を評価する（50%） <p>③主体的な態度の観点</p> <ul style="list-style-type: none">・自らの学習を振り返り、適切な改善点を挙げるができるかを評価する。（30%）
<p>(10) フィードバックの方法</p>	<ul style="list-style-type: none">・第7回の授業中に個人発表のフィードバックします。・グループワークの進行度合いによって個別に助言します。・質問等があればメール・LMSで対応します。

4 詳細 第4回SDGsについて（3）（関大の取り組みについて）

7

時配	学習内容と活動	授業中の留意点・評価
導入	<p>教員の活動：・これまでの復習 ・到達目標の説明 ・関大のSDGsに関する取り組みに対する質問</p> <p>学生の活動：・教員の発問に対して思考する ・近くの学生と自分の考えを共有する</p>	<p>【留意点】 ・教室全体がざわざわし出す可能性がある ので適当な所で教員側が注意を向くように 気をつける。</p> <p>【評価】 ・周囲の学生と協力しているか否か（協調 性）。</p>
展開	<p>教員の活動：・パワポを用いて関大の取り組み（「KANDAI for SDGs推進プロジェクト」等）について解説 ・学生からの質問があれば適宜対応する</p> <p>学生の活動：・学生でもできる取り組みについて考える ・レジュメの穴埋め問題に取り組む ・質問を5個以上考える</p>	<p>【留意点】 ・学生の反応を見つつ、質問を適宜問いか ける。</p> <p>【評価】 ・授業内容に関連した質問を複数考えたか 否か。</p>
まとめ	<p>教員の活動：・関大のSDGsに関する具体的な取り組みを紹介 ・ミニツツペーパーの設問を提示する。 ・個人発表当日の詳細を説明 ・学生からの質問に対応</p> <p>学生の活動：・次回の個人発表に向けた準備を始める ・不明点等あれば教員に質問 ・授業内容を振り返る</p>	<p>【留意点】 ・個人発表当日の詳細や準備方法を説明す る。 ・学生の進捗状況を確認し、不安要素を取 り除く。</p> <p>【評価】 ・ミニツツペーパーの内容が適切か否か。</p>